

画像工学同窓会会報

<http://gazo-chiba-u.jp/>

会長挨拶

千葉大学から「画像」を冠した学科名が無くなってから数年の月日が流れました。現在、「イメージング」という名称を使う大学院のコース名だけが、大学と、我々、画像工学同窓会を結びつける唯一のキーワードとなっています。そのため、卒業する大学生が新たに必然性を持って、画像工学同窓会に所属意識を持つことが全くと言っていいほど無くなってしまった状況です。新たに仲間入りする同窓生が増加することがない状態、コロナ禍による集う機会の減少、既存同窓生の引退や高齢化など、さまざまな原因が考えられますが、会費収入が減少と一途をたどっています。

2年前に会長に就任して以来、会費の支払い方法を、郵便振替以外にも、郵便局に直接出向く必要のない銀行振込やクレジットカードを利用して納入できる仕組みを導入するなど、幅広い世代に馴染みやすい支払い方法を選択肢として増やす取り組みを行ってきました。また、会報誌と同窓会のWEBサイトに広告欄を新設し、事業を営んでいる同窓生の協力を得ながら、会費以外の協賛金収入を見込めるように取り組んでまいりました。

同窓生が集うことは、昔の友と出会う機会が暮らしを充実させ、また、新たな出会いのきっかけは、研究や仕事上の相乗効果をもたらします。また、千葉大学や現役大学生に貢献できることは、千葉大学を卒業して良かった、家族親戚にも千葉大学の入学を勧めたい、そんな気持ちの連鎖を母校千葉大学が取り巻く環境に育み、我々の誇りにもなります。何よりも、仲間と集う時間をわくわくと楽しめる、また来年も集いたいと

思えるような同窓会にしていけたらと考えています。コロナ禍での不自由さもだいぶ少なくなってきたこの機会に、ぜひ皆様のお知恵や積極的な関わりをよろしく願いいたします。

さて、ここからが本題となります。先の総会でも議論されました通り、今回より会報誌を印刷して、会員全員に送付する予算がついに底を尽きてしまいました。大胆な決断を、というご意見を総会でも賜り、次の通り対策を講じることになりました。

- ①原則紙媒体での会報誌発行は中止し、WEBにて会報を提供する。ただし、これまで2年の間で、会報送付とともに会費や寄付のお支払いをしてくださった方には、会報送付を継続する。
- ②それ以外の方には、お葉書を送付し、QRコードで登録していただいた方に、毎年メールでWEB版の会報誌を送付する。
- ③クレジットカードで会費を支払ってくださる方に、毎年自動継続で会費や寄付金のお支払いが可能な機能を選択肢としてご用意する。

会長をはじめ幹事長、幹事、事務局のメンバーが変わってもこの同窓会が存続できる仕組みづくりがこれまで以上に急務であります。ぜひ皆様のご協力と積極的なご参加をよろしくお願いいたします。 学部卒業年:平成14年 虎岩雅明



画像工学同窓会 総会・懇親会・技術講演会のお知らせ

令和6年度の定時総会を例年同様、開催いたします。ぜひ、皆様お誘い合わせのうえ、ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。なお、総会・懇親会ともに、ご参加の有無を同封の振込用紙にご記入またはウェブサイトよりご連絡いただけますようお願い申し上げます。

日にち 2024年2月15日(木)15時30分から(15時開場)

場所 サンシャインシティ コンファレンスルーム ルーム1



※新型コロナウイルスの影響により開催場所など変更する可能性があります。

※最新情報は、画像同窓会Webサイトをご覧ください。

画像同窓会Webサイト: <http://gazo-chiba-u.jp/>

技術講演会

時間:15:30~16:10

演題:「光伝搬の選択的計測・解析に基づくコンピュータショナルイメージング」(仮)

参加費:無料

令和6年度 定期総会

時間:16:15~16:45

議題:令和5年度事業報告、会計報告
令和6年度事業計画、予算案

参加費:無料

懇親会

時間:17:00ころから

参加費:5,000円(予定)

情報・データサイエンス学府・学部の新設

AI技術の進展は目覚ましいものがあり、画像工学関係でも画像認識分野に加えて、最近では主に画像生成分野において急速な発展を遂げています。これらの技術の核は、膨大なデータから計算機が統計的に法則を見出すところであり、データサイエンスと呼ばれています。データサイエンスは、第四次産業革命を牽引するとも言われており、我が国でもデータサイエンス力の高い人材育成とその学習基盤整備が急務とされてきました。

社会からのそれらの要請に応えるべく、本学では令和6年4月より、工学部総合工学科情報工学コースを発展的に解消し、情報・データサイエンス学部が新設されます。情報工学コースが母体となりますが、関連領域の教員も新たに加わって組織拡大し、応用分野への展開力の育成を強化した新しい学部として生まれ変わります。

学部の定員は100名であり、3年生からはデータサイエンスの応用に関する能力を強化した人材を育成する「データサイエンスコース」と、データサイエンスの実現技術に関する能力を強化した人材を育成する「情報工学コース」の2つのコースが用意されています。学生は、本学の強みとして実績のある3つのカテゴリー「医療・看護」、「環境・園芸」、及び「人間・感性」に対応する「データサイエンス系専門科目群」とデータサイエンスの基幹的技術に対応する「情報工学系専門科目群」等から構成される実践的カリ

キュラムを横断的に履修します。この中で、人間・感性に関する専門科目として、これまでの画像工学関連科目を増強した、カラーサイエンス／デジタル画像処理／視覚情報処理／ヒューマンインタフェース／コンピュータグラフィックス／生体情報工学／感覚・知覚測定法などの科目が準備されています。

また、あわせて大学院博士後期課程も、融合理工学府情報科学コース及びイメージング科学コースを発展的に解消し、情報・データサイエンス学府が設置されます。この学府では、「データエンジニアリング力」、「データサイエンス力」、「データサイエンス展開力」に加えて、これらを高度に統合した能力である「データサイエンス高度展開力」や「データサイエンスイノベーション力」の能力を高度なレベルで兼ね備え、イノベーションを先導できる人材を養成します。学部と同時に新設される理由は、早期人材育成のために、社会人を含めて、様々な分野からの外部入学を想定しているためです。なお、博士前期課程については、学部生が卒業する4年後の設置を予定しており、それまでは現在の融合理工学府にイメージング科学コースが引き続き存続することになります。

新学府・学部の詳細は、
<https://informatics.chiba-u.jp/> でご確認ください。

新講義棟の建設

本学の工学系施設は、多くの建物で経年による老朽化が進行しており、安心・安全な教育研究が脅かされる可能性が指摘されてきました。加えて、ダイバーシティやリカレント教育など多様な在り方、学び方を受け入れる環境整備に対する社会的要請が高まっていますが、既存の施設では十分に対応できているとは言い難い現状にありました。そこで、新たに整備計画が策定され、その第一弾として工学部7号棟前で駐輪場等として活用されてきた空き地部分に、4階建ての講義棟の建設が始まっています（写真参照）。1～2階部分は階段教室の大講義室であり、3階および4階部分はそれぞれ2つずつの講義室が配置されます。令和6年度の後期から講義で使用される予定となっています。

当初、講義棟の建設に引き続いて、10号棟から3号棟を順に取り壊し、高層棟の研究室建築も計画されていましたが、施設を最大限有効活用するために、本学では長寿命化ライフサイクルへ転換を図ることとなりました。具体的には、順にリノベーションによる大規模改修を行うことにより、80年程度の耐用年数を目指すこととなり、上記工学部棟

も現在からさらに30年の耐用を目指すこととなりました。これにともない、当初取り壊しが計画されていた20号棟（印刷工場）は存続が決まりました。



建設中の新講義棟（7号棟2階から弥生通り方面を望む。左奥は6号棟）

高原茂教授・星野勝義教授最終講義



花束贈呈後に挨拶される高原教授



最終講義をされる星野教授

2023年3月末に定年退職を迎えられた高原茂先生と星野勝義先生、お二方の最終講義が3月9日(木)に開催されました。最終講義はオンラインでもライブ配信され、西千葉キャンパスけやき会館1階大ホールに集まった方々と合わせて100名近い参加者を前に、高原先生は「つながる光化学と光機能材料」、星野先生は「セレンディピティな研究をめざして」というタイトルでご講演されました。

コロナ禍での開催ということで退職記念祝賀会の開催は叶いませんでしたが、この講義においてお二人の長きにわたる研究活動と各人の生い立ち、学生時代にわたる思い出等を惜しげなくご講演下さり、それを聞いた卒業生や学生たちがお二人を囲んで談笑したり記念写真を撮ったりするなど和やかな雰囲気最終講義は幕を閉じました。

お二方の千葉大学での長年にわたる多大なご貢献に敬意を表すとともに、今後の益々のご活躍とご健勝をお祈り致します。

なお、最終講義の様子は下記のURLより視聴することができます。

<https://www.tp.chiba-u.jp/final/>

千葉大学画像工学同窓会の関西支部



千葉大学画像工学同窓会の関西支部は総会・懇親会を7月22日、例年と同じく京都のレストラン・キエフで開きました。コロナ後の開催で参加者は9人と多くはありませんでしたが、一体感ある和気藹々とした懇親会となりました。

学生時代の思い出話以外にも、今後の会報誌が紙媒体からWeb発行になったこと、来年4月に新設となる学部と配属される教員について、工学部の建物に大改築がはいる予定、そして現メンバーの近況報告にも花が咲き、充実した情報交換のひと時となりました。

千葉大学画像工学同窓会の中部支部



4年ぶりとなる中部支部総会は7月26日名古屋駅前「なみのはな」にて12名の参加を頂き盛大に行われ、中部支部幹事として成瀬直文(S60 中日新聞印刷取締役)、中村昌史(H15 竹田印刷 執行役員)、松井尚樹(S54 元 DIC)の3名が選ばれました。

同窓会や現・画像工学系学部の近況、北京亭や同門結婚の話題で大いに盛り上がったほか、中部地区の新聞印刷(朝日・中日・読売)全てを画像系が仕切っていることにも感嘆の声が上がりました。

(読売 東海プリントメディア福浦社長は今回欠席)

協賛金バナー設置のお願い

画像工学同窓会では現在、同窓会運営財源確保と同窓会相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体を対象に、バナー広告の掲載を承っております。

WEB枠

- ・バナー広告掲載料 10,000円
- ・設置内容 トップページにバナー広告が掲載されます。バナーをクリックすることで広告主様ホームページに進むことが出来ます。
- ・掲載期間 2025年1月まで

会報枠

- ・バナー広告掲載料 50,000円
 - ・設置内容 会報にバナー広告が掲載されます。
 - ・掲載 2024年末発行予定の会報誌
- ※お支払い方法は「クレジット決済」または「銀行振込」となります。



詳細はウェブサイトをご確認ください。
<https://gazo-chiba-u.jp/ad-banner/>

担当事務局 千葉大学画像工学同窓会事務局 株式会社エイピス内
〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-1-8-401
TEL:043-241-8788

年会費納入のお願い

会費発行などの同窓会の活動は、主に会員の皆様からの年会費で賄われております。正会員の皆様には、同窓会が母校を支え、会員相互の親睦を支える事業を継続・発展できますよう、同封の振込用紙にて年会費(1,000円)をご納入の程、お願い申し上げます。

また、Web決済・銀行振込をご利用の場合は、下記URLより「会費・会報」のお手続きへお進みください。

画像同窓会 会費・ご寄付のお願い

<http://gazo-chiba-u.jp/donation/>



なお、情報画像工学科の卒業生の皆様には在学時の所属コース、研究室に関わらず、全員にお送りしておりますので、ご了承ください。

また、2022年11月～2023年10月までの寄付者一覧は以下ウェブサイトからご確認ください。

<http://gazo-chiba-u.jp/donar>

事務局便り

会報の発送に関して、同窓会運営に関しても資金面において大変厳しい状況の中、誠に遺憾ではございますが本年度より同窓生全員への発送をとりやめ、会費納入者のみ（過去2年間で納入した方のみ。ただし希望者には送付しない）への発送と変えさせていただきました。

ウェブ上での閲覧は可能ですのでホームページよりご確認ください。何卒ご理解ご協力お願い致します。

<https://gazo-chiba-u.jp/newsletter/>

協 賛

Webサイト <http://gazo-chiba-u.jp/>

次年度以降の会報に協賛広告を募集中です。みんなで同窓会を盛り上げましょう(詳細はWebを参照ください)

